

Stand UP!!!! NO.56

2018年5月23日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 直 部

復帰46年！5.15沖縄平和行進



5月10日～15日にかけてJR貨物労組青年部から15名が参加し、JR総連青年協議会全体で35名の仲間と共に沖縄の平和を願う5・15沖縄平和行進に参加しました。



今回の行進では日本で唯一の地上戦があった沖縄の地を自らの足で歩き、当時の住民はどのような気持ちだったのかを迫体験する事ができました。沖縄では現在、名護市長選をはじめ辺野古新基地建設反対の議員が落選するなど厳しい情勢下にあります。

12日は南部戦跡コースを「辺野古に新基地はいらない」「軍備増強反対」などシュプレヒコールを行ないながら17.4キロの道のりを行進しました。

13日は宜野湾市役所から宜野湾市海浜公園野外劇場まで8.2キロの道のりを行進し、「復帰46年！5.15平和とくらしを守る県民大会」に参加しました。

県民大会終了後はJR総連青年協議会として総括会議を行ない、「私たちは歩く準備をしてきたが、当時は今のような靴や舗装された道路も無い所を逃げ回った事を思うと、戦争は本当に悲惨な事なのだと感じた」や「ゴールもなく平和な暮らしも出来なかった当時の人々を思うと、自分の子供に対して平和な未来を考えていかなければいけない」など今回の行進を通じて感じた率直な意見が出されました。

憲法改悪反対・新基地建設反対・基地撤廃・オスプレイ撤退など私たちが訴えたからといって今すぐ変わることはありません。しかし、私たちは2018春闘で19年ぶりにベアを獲得したことにより、継続して声を挙げることの重要性を再認識できました。憲法改悪に向けて突き進む日本に対し、これからも自らが平和の議論を推し進めていきます！

最後に、参加者を送り出してくれた職場の皆さんありがとうございました！



青年部の力を合わせて憲法改悪を阻止しよう!!

JR貨物労組青年部